



新病院建設は第3期工事、東棟改修を順調に終え、いよいよ最終の第4期工事が開始されました。第4期工事では、1956年に京町にて城北診療所として医療活動が開始され、その後病院となった一番古い「南棟」の解体が行われます。

5/29(水)には長年城北病院の医療活動を支えてくれた南棟への感謝の意を込めて、「ありがとう南棟」イベントを開催しました。当日は約90名の職員やOB・OGに

参加いただきました。訪名誉院長、佐藤元院長、野村副院長から、南棟の歴史やここを舞台に展開された医療活動、様々な想いが詰まった挨拶をいただきました。

翌日、5/30(木)には南棟最後の病棟である南4病棟(医療療養病棟)スタッフによる「ありがとう南4病棟」のイベントが開催され、職員と入院患者さんが集い、音楽や関係者の温かい言葉で病棟への感謝が表されました。

夏 平和について考える

城北病院・診療所では、毎年、核兵器廃絶を願い、地域の皆さんとともに「平和行進」や「ピースフェスタ」を開催し、平和について職員の学ぶ機会を設けています。

8/3に開催されたピースフェスタでは、今年も多数の皆さんの参加により、平和の願いを込め、盆踊りや模擬店で楽しいひと時を共有しました。



私たちがめざすもの

医療福祉宣言

城北病院 城北診療所 2019

私たちは、ヘルスプロモーション・ホスピタルとして地域の皆様、他の病院や施設と共同してネットワークをつくり、無差別・平等の地域包括ケアを実践し、平和で安心して住み続けられるまちづくりに努めます。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231
http://johoku-hosp.com
E-mail renkeisitu@johoku.jp



医療福祉連携相談室だより

Jo-HOKU No. 54

2019.8.20 summer



「最後の願い」に応える取り組み

城北病院 副院長
柳沢深志

先日、いつものように朝起きて新聞に目を通していると、ほんの小さな記事に目がとまりました。

『末期患者の「最後の願い」かなえます、豪で専用救急車運用へ』

発信は、2019年7月26日 19:45 シドニー/オーストラリア AFP 通信。城北病院でも、末期患者の最期の願いをかなえようと、入院患者のお出掛けなど多職種で取り組み、『笑って死ねる病院』の書籍にもなった事を思い出しながら記事を読み進めました。

「オーストラリア北部クイーンズランド(Queensland)州は、末期患者の「最後の願い」をかなえるため、専用の救急車を運用すると発表した。」

なかなかすごいことだと感心。州が取り組むのであれば、おそらく、一定部分は公費なのでしょう。さらに、きっかけになった理由にびっくりでした。「同州では2年前に、死期の迫った女性の希望を聞き入れ、病院に向かう途中で海岸に寄り道した救急隊のエピソードが話題になり、(そんな希望を訴えた搬送患者もですが、なによりその要望を聞き入れた救急隊に脱帽です)、同州救急隊は2017年11月、海を臨むハービー湾(Hervey Bay)で担架のそばに立つ救急隊員の写真をフェイスブック(Facebook)の公式ページに投稿。患者が最後にもう一度海が見たいと望んだためだと書いていた。」

「同州政府は今週、使わなくなった救急車1台を、末期患者の最後の願いをかなえる専用車にすると発表。ペットや子ども、孫に会いに行く、美術館や博物館を訪れるといった希望を想定しているという。スティーブン・マイルズ(Steven Miles)州保健相は、医療訓練を受けたボランティアと必要な器具を備えた専用車両で末期患者らを搬送し、人々の最後の願いを確実に安全にかなえてあげられればと話している。」

城北病院でも、金沢市内2か所目となる緩和ケア病棟が6月より始動開始しました。また、救急搬送を受け入れ、より重症者を診られるよう、ハイケアユニットも開始する予定です。患者家族の思いに寄り添い、地域の方々、医療機関、行政とも協力しながら、最期の思いにも応え、人間らしさを守り続ける取り組みを進めていきたいものです。

特集 1



城北病院 血管外科医 遠藤将光

新たに血管外科診療がスタートしました

城北病院

4月から城北病院に着任しました血管外科の遠藤将光と申します、宜しくおねがいいたします。3月までは金沢医療センターで心臓血管外科を専門にしておりました。出身はB級グルメの焼きそばで有名になった富士山の麓の静岡県富士宮市で、大学から金沢に来て人生の2/3以上を北陸の地で過ごし、ほとんど石川県人になったと思っています。趣味はテニスと野菜作りで、週末は土や野菜、空模様とも会話しながら過ごしています。

当院では血管外科といってもスタッフは私一人なので、腹部・胸部の大動脈瘤治療など大がかりな手術は困難です。まず当院でできることと言えば、透析患者さんのシャント関連手術が挙げられます。また、下肢静脈瘤や閉塞性動脈硬化症による末梢血管疾患なども診療する予定ですが、更に全身の血管ドックを新設して頂き、また検診にも加えさせて頂いております。以下に各項目につき説明いたします。

【シャント関連手術】

内シャントの新規造設はもとより、閉塞・狭窄を繰り返し血管内治療では直ぐに再発してしまうシャントを、他の部位で再吻合する方法などがあります。また、短い範囲の狭窄・閉塞であれば静脈を間置・バイパスする術式も行います。自家静脈が不良であれば人工血管も使用します。

【下肢静脈瘤】

時折、外見だけで治療を希望される方もいらっしゃいますが、症状の無い方には加療適応はありません。手術適応の無い方は弾性ストッキングで経過を見て頂ければ充分であり、加療が必要な場合には根治性・再発の低さを考慮すれば外科的な治療法としてストリッピング術が最適と考えております。この術式は二泊三日の入院で治療可能です。

【閉塞性動脈硬化症】

跛行であればまず内服加療が最優先されます。重症跛行や内服でも改善しない方、また潰瘍や壊死を伴っている場合には血行再建が必要になりますが、まず低侵襲的の血管内治療を循環器科と相談して行います。それでも改善しないようであれば外科的血行再建の適応と考えております。

【全身血管ドック】

8月から既に予約を開始しております。近年、脳(頸動脈)や心臓・腎臓・下肢などに発症する血管病に対する関心が非常に高まっております。昔から「人は血管とともに老いる」といわれます。それは加齢と共に生活習慣病の代表とされる高血圧や糖尿病、高脂血症(血液中の脂肪成分が多い、または、血液どろどろ)が喫煙と共に動脈硬化の原因となり、脳や首、心臓、腎臓、足などからだ全体の血管をいためるからです。そのため心臓病や脳卒中、腎不全、足の壊疽などが起こりやすくなります。日本人の死因の第一位はがんですが、2位は心臓病、脳卒中は3位でどちらも動脈硬化による血管病が主な原因です。また、2位と3位を併せるとがんとはほぼおなじくらいの方が亡くなっています。第1位を占めるがんも早期発見が大切と言われていますが、発見が難しいがんもあります。しかし血管病はきちんと検査をすればがんよりも早期にみつかることができます。全身の動脈硬化を早くみつけて対策をたてれば血管病を予防する事ができ、長く健康で生き生きとした生活が可能になります。

当院の全身血管ドックでは脳のMR、頸部・心臓・腹部・下肢のエコー検査、負荷を含む心電図等で頭からつま先まで、全身の血管をくまなく検査し血管病の早期発見に努めます。特に60歳以上で糖尿病、高血圧、高脂血症の方、また喫煙歴のある方は血管病の可能性が高くなりますので受診をお勧めします。先程述べたようにがんでは早期発見が難しいものがありますが、血管病はがんよりも早期に発見できます、早くみつければ全身の血管病を予防しましょう。また、生活習慣改善のため食事指導・生活指導も併せて行います。検査結果は当日担当医が説明し、問題があればその時に更に必要な検査や診察を予約します。また、結果は印刷して後日郵送いたします。

血管外科医として少しでも患者様のお役に立てるよう頑張ります。まだ着任したばかりでそれこそ右も左も分からない状況ですが、当院のスタッフの皆様が助けて頂き全身血管ドックのような新たな取り組みも可能になっております。城北病院を通じて地域医療に貢献できるよう努力しますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

特集 2

城北病院・診療所 リウマチ科紹介



村山 隆司 医師



中崎 聡 医師



堤野 みち 医師
つつみの

今年4月東京女子医科大学で長くリウマチ膠原病診療に携わってこられた堤野みち先生が当科に赴任され、リウマチ科常勤医は2名から3名となり体制が強化されました。

リウマチ科外来は毎日2診体制で行っております。対象疾患はリウマチ性多発筋痛症、脊椎関節炎、線維筋痛症、膠原病などリウマチ性疾患全般ですが、中でも関節リウマチ患者様を多く診ています。

リウマチ性疾患は全身的な病態病状が関連することが多く他科との連携は不可欠です。そこで、合併症等に対しては、中規模病院であることを活かして他科との情報交換を密にして対応しております。さらに、必要な場合は大学病院など城北病院以外の基幹病院とも連携して対応しています。

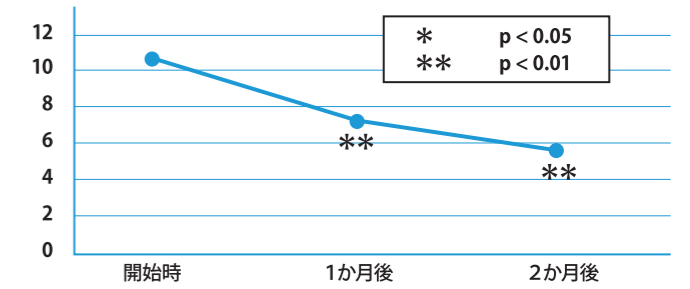
関節リウマチの治療については、リウマチ外来では薬物療法に力を注いできました。2019年の使用状況では、調査した567名中生物学的製剤の使用割合は57.3%です。詳細については下記の表をご参照ください。

一般名	商品名	使用人数(名)	使用割合(%)
メトトレキサートカプセル	リウマトレックスカプセル/メレート	257	45
生物学的製剤			
トシリスマブ	アクテムラ	78	14
アバタセプト	オレンシア	69	12
エタネルセプト	エンブレル	49	9
ゴリムマブ	シンボニー	47	8
インフリキシマブ	レミケード/インフリキシマブ BS	38	7
アダリムマブ	ヒューミラ	19	3
セルトリスマブベゴル	シムジア	14	2
サリルマブ	ケブザラ	11	2
JAK 阻害剤			
トファシチニブ	ゼルヤンツ	35	6
バリシチニブ	オルミエント	22	4

リハビリについては、最近、世界中で注目されているマイオカインの考え方をいち早く取り入れ、2017年から当院で独自

に考案した筋肉トレーニング(筋肉増強運動)による治療に取り組んでおり、その成果を学会、研究会、論文などで発表しております。

筋力増強運動後の圧痛関節数の経過



関節リウマチは女性の患者様が多いため、20代から30代の若い女性が妊娠出産で悩まれる方が少なからずおられます。当院では、治療をしながら妊娠、出産をされた方も少なからず通院されています。

最新のリウマチ治療薬は高額なものが多く経済的理由で有用な薬剤の使用を控える患者様が多くおられます。当院では低所得の方のための無料低額診療も実施しております。経済的な面で検査や治療にお悩みの方は、ご相談ください。

検査については、CT スキャン MRI はもとより、苦痛が少なく費用がやすい関節エコーを積極的に取り入れています。

城北病院・診療所 循環器の医師体制が充実しました



小堀 健一 医師



横山 加奈子 医師

循環器医：佐藤 清、柳沢 深志、野口 卓夫

8月より、横山加奈子医師が研修から帰任しました。今後は益々、狭心症に対するカテーテル治療(PCI)に加えて、末梢動脈疾患(PAD)に対するカテーテル治療(EVT)やフットケア、透析患者のシャント血流不全に対するカテーテル治療(VAIVT)に積極的に取り組んでまいります。

是非、患者様のご紹介をお願いいたします。